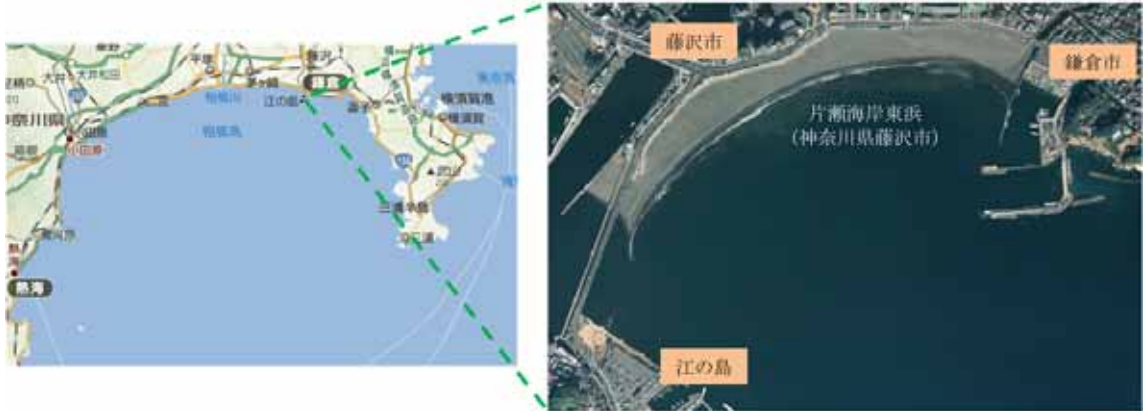


かながわビーチクリーンアップ活動への参加

弊センターは、公益財団法人かながわ海岸美化財団が主催する標記活動へ昨年より参加しており、今年も5月29日に実働部隊の面々（防災部業務一課・二課、調査研究室 計9名）が片瀬海岸東浜（下図参照）の清掃に参加してきました。



海上に流出した油が海岸に漂着した場合、実際には漂着油の回収だけではなく、**油まみれの木屑、海藻類、生活ゴミ等の漂着物（油性ゴミ）も回収**することになります。またこれら**油性ゴミが気象海象によって汚染されていないエリアに再漂流・再漂着し汚染の拡大**を引き起こすこともあるため、迅速な対応と的確な回収が求められます。

本活動への参加は、主として社会貢献の一環として位置付けていますが、今回は更に有事における迅速な対応と的確な回収を実現するための「人員・資機材輸送、資機材取扱い慣熟等の実働訓練」にも重点を置いて、計画実施したものとなっています。

それでは、どのような流れで海岸清掃を実施したのか、写真とコメントでご説明します。



☆資機材の輸送状況

平素に資機材の輸送方法を確立・検証することにより、有事の際の迅速化を図ります。

次頁に続く



☆輸送した海岸防除作業用車両を
ご紹介！

- ・自走式ビーチクリーナー（左2台）
- ・SCAT車（右2台）

※SCATは **Shoreline Cleanup
Assessment Team**：海岸線評価チー
ムの略で、砂浜海岸でも走行可能な
車両を **SCAT車**と呼んで、海岸の調
査に使用します。



☆海岸清掃前の状況
片瀬海岸東浜（江の島方面）

茶色の帯は漂着したゴミの塊です。



☆海岸清掃前の状況
片瀬海岸東浜（鎌倉方面）

茶色の帯は漂着したゴミの塊です。



☆SCAT車による海岸調査と石・木
材等の荒取り作業の状況

石や大きな木材等は自走式ビー
チクリーナーでは回収し難いため、
海岸調査を実施すると共に、人海戦
術と **SCAT車**で回収しました。

次頁に続く



☆海岸に漂着していたゴミの状況

枯葉、木材、海藻類、生活ゴミが漂着していました。



☆自走式ビーチクリーナーによる回収作業の状況

車両の下でゴミを掻き上げて、振動している鉄網上を通過させることにより、砂は振るい落とし、ゴミだけを後部のホッパーへ回収します。



☆回収したゴミの状況

右は人海戦術とSCAT車によって回収したゴミで、左が自走式ビーチクリーナーで回収したゴミです。



☆劇的ビフォーアフター（江の島方面の状況）

計 800mの海岸を清掃しました。

次頁に続く



☆劇的ビフォーアフター（鎌倉方面
の状況）

計 **800m**の海岸を清掃しました。